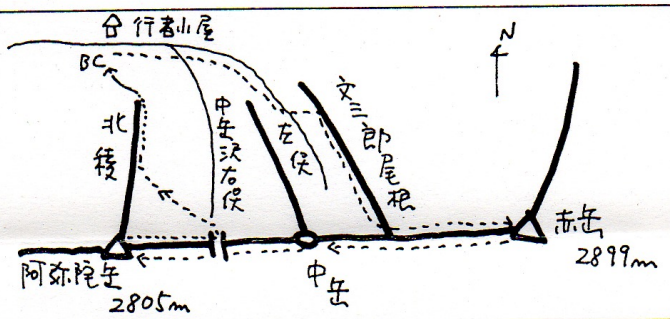
山行報告書

三島勤労者山岳会

通算山行NO	NO・621	報告者	後藤　隆徳
年　月　日	93・01・02（土）～04（月）		
山　行　名	三島勤労者山岳会・第20期冬山合宿C隊		
山　　名	八ケ岳・赤岳（2899m）、阿弥陀岳（2805m）		
標高差・困難度	行者小屋～頂上（赤岳）＝550m 、季節＝冬期・・・上の下級		
走行距離	三島～美濃戸口＝170Km		
コースタイム 1／2	下土狩6：00～美濃戸口下着9：40～発10：00－行者小屋15：30（泊）		
コースタイム ／3	起床3：45～出発6：05－赤岳8：15～30－中岳コル10：00－阿弥陀岳10：45～11：00－BC12：30（泊）		
コースタイム ／4	起床3：45～出発5：50－美濃戸口9：10～三島		

参加者・役割分担					
			装備	白井聖男	37
CL	後藤隆徳	45	SL	村松　美貴	43
SL	中田　明	31	医療	渡辺保代	50
装備	渡辺昭二	30	食料	大沼千恵	27



1／2　雨のち晴

朝から暖かく雨が降っていた。渡辺保より井手上が急に不参加になったと報告あり。白井、後藤車で出発。南一色で中田を拾う。山梨に入ると天気は快晴になった。美濃戸口に向かうが、直前の急坂が凍結して危険なので、近くの太陽館に駐車する（1日300円）。天気は快晴無風で非常に暖かい。荷物を分けると重量は渡辺昭33Kg、後藤32Kg、白井30Kg、中田28Kg、村松20Kg、大沼20Kg、渡辺保15Kgだった。

雪は平年並み。美濃戸山荘で中田が沼津カモシカの加田に会う。柳川南沢を登る。久し振りの30Kgは仲々だ。途中、体調悪い村松の荷物を分ける。行者小屋対岸の樹林帯に幕営。1人1日400円。ただしトイレ、水も使えるのでありがたい。水を汲みに行った人から、小屋に安倍っ子のヒゲの人がいて、後で遊びにくると言っていたと報告を受ける。豪勢なスキヤキの夕食の後新年のお祝いをし、今年の抱負、夢、目標など語り合う。今回は若い人がいるのでいつも以上盛り上がる。

安倍っ子の岩本が遊びに来た。またまた皆で大いに飲んで語り歌う。そして最後はやっぱりスクラムを組み三島労山の歌で締めた。岩本も良く知っていた。

今日は村松以外調子が良く、明日後日の天気の保証も無いので、明日天気が良ければ赤岳と阿弥陀岳を先に登ることを決めた。

1／3 快晴 暖かし	外は満天の星で風も無く暖かい。絶好のアタック日和だ。予定通り赤岳、阿弥陀岳に向かう。ヘッドランプを点け中岳沢左俣を登り、途中から文三郎尾根に出る。風が少し出たが冷たくない風だ。中田が赤岳西壁の話題をしきりにする。昔、何本か登っているので説明するが、本当は彼も登りたいのだろう。今回は子守で申し訳ない。文三郎をこなし稜線に出て鎖場の始まる所でザイルを付ける。オーダーは、渡辺昭－村松－白井、中田－大沼、後藤－渡辺保。 登りは鎖が完璧に張ってあるので安心かつ安全だった。昔に比べると随分整備されたものだ。パーティーも全く危なげない。全員快調で簡単に頂上着。風は少しあるがすばらしい展望だった。全員で堅い握手。誰かに写真を撮ってもらう。小休し食べ下山。部分的にスタカットで行く。赤岳を下り中岳を越え阿弥陀岳のコルで大休止。暑いのでヤッケを脱いだ。春山のようだった。そういえば先程会った登山者が持っていた寒暖計は－５℃だったけ。後藤がフイルムを１本しか持って来なかったので、いろいろの人に声を掛け分けてもらった。 簡単に阿弥陀岳着。赤岳がひときわ大きい。私を知っているという人に声を掛けられたが誰だった？下りは３Ｐザイルを使う。コルからは中岳沢右俣の雪崩が危険なので夏道どうり東壁をトラバースして北稜を下った。途中、ラッセル訓練を行い、ラッセルがいかに大変か、ラッセルがあるといかに楽かを学んでもらう。ＢＣに着く。小屋に行きラーメンを食べワインをいただく。昭チャンがうれしそうにコガラを観察。明日のルートを確認後帰幕。 夕食準備時村松調子悪く少し休む。休んだら元気が戻る。夕食後はまた大いに飲み、語り歌った。明日は村松が調子良く、好天なら硫黄岳に行くことを決めた。しかし、ほどなく山はガスり、夜半から気温が上って雪と風が強くなった。
1／4 曇	夕べは暑くて気持ち悪く、昭チャンと２人で、ズボンもシャツも靴下も脱いでしまった。起床時間の２時になったが、まだパラパラしているので起きず、４時になっても好転しないので下山を決定した。 明るくなり出発。３Ｐで太陽館着。風呂に入り素晴らしい居間で食事を摂り帰途に就いた。いい山だったと思う。
その他	１、目立ったゴミ、自然破壊はなかった。 ２、テントが就寝時７人では狭苦しかった。。 ３、ゼイルワーク（セルフビレイの方法など）をもっと学ぶ必要がある。 ４、上隣に大阪市役所労山のテントがあった。話すと天狗岳まで縦走とのこと。 ５、コンロが調子悪かった。最後の日に燃料が余ったので、全て交換したら調子良くなった。 ６、直前の不参加は隊の士気低下、物質的経済的損失を招くので、健康管理など特に留意しなければならない。 ７、行者小屋は新築され、きれいになった。 ８、初心者、若い人の参加があり、それをベテランが盛り上げてくれた。